

## 会 議 録

<b>会 議 名</b> ( 付 属 機 関 等 名 )		第3回 川西中央北エコまち協議会	
<b>事 務 局</b> ( 担 当 課 )		中央北整備部 中央北推進室 地区整備課	
<b>開 催 日 時</b>		平成25年3月1日(金) 18時00分 ~ 20時00分	
<b>開 催 場 所</b>		川西市役所 4階庁議室	
<b>出 席 者</b>	<b>委 員</b>	加藤、山中、牧田、安田、中根、有田、秋山、山本、井上、畑中、石田、井上(功)、畑尾、西田、畠中、酒本、枅川、松下	
	<b>そ の 他</b>	玉野(近畿経済産業局)	
	<b>事 務 局</b>	西村、中川、橋本(コンサルタント)	
<b>傍聴の可否</b>		可	<b>傍聴者数</b> 0人
<b>傍聴不可・一部不可の場合は、その理由</b>			
<b>会 議 次 第</b>		<p>1 開会</p> <p>2 開会あいさつ</p> <p>3 第2回協議会からこの間までの経過 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料1</span></p> <p>4 議事              低炭素まちづくり計画最終案について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2、3</span>              来年度以降の動きについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</span></p> <p>5 閉会</p>	
<b>会 議 結 果</b>		別紙審議経過のとおり	

# 審議経過

## 1. 開会

事務局（川西市）

## 2. 開会あいさつ

（中央北整備部中央北推進室 酒本室長あいさつ）

- ・川西中央北エコまち協議会も第3回を迎えました。都市の低炭素化の促進に関する法律が施行され、川西市および長野県の自治体（小諸市）が先行して取り組んでいると言われていています。
- ・これまで議論していただきました案でパブリックコメントを行い、市民、議会の意見を受けて修正を加えたものを、本日最終案としてご提示し、とりまとめていきたいと思ひます。
- ・本計画については実効性の担保をPFI事業の中で合わせて実施していくことが特徴だと思ひます。本日も、忌憚のない議論をよろしくお願ひいたします。

## 3. 第2回協議会からこの間までの経過

事務局

- ・資料説明（資料1、参考資料1）

会 長

- ・まちの愛称について、4月中ごろに決まっているイメージですか。

委 員

- ・3月中に決めて4月に広報誌で発表していきたいと思ひます。

会 長

- ・本日は最終案をとりまとめることが主題となります。それでは、事務局から説明をお願いします。

## 4. 議事

低炭素まちづくり計画最終案について

事務局

- ・資料説明（資料2、3）

会 長

- ・ご意見、ご指摘はございますでしょうか。2回までの議論を振り返っていただいても結構です。計画10年とし、将来を展望するという記載方法で、本計画の範囲についてより明確になっていると思ひます。

#### 委員

- ・議会からの意見で目標の位置づけはどうなっているのかという意見が出されています。具体的な取り組みは来年度ということになっていますので、この意見の対応としては「修正なし」となっていますが、本計画策定後の平成25年度に運用基準を作っていこうとしています。
- ・計画の中に、来年度作成予定の運用基準との関係性について記載してはどうかと思います。
- ・P8の第2章欄外に「国の目標が・・・」の注釈に加えて、「具体的な基準は別途運用基準に定める」としてはどうかと思いますがいかがでしょうか。

#### 会長

- ・90年比25%削減相当という国の目標も変わる可能性があります。目標をあらかじめ計画に盛り込んでおきたいということで注意書きが記載されています。また、明確な基準については計画そのものの修正ではなく、計画の運用で修正していきたいという意図で記載するということが良いでしょうか。

#### 委員

- ・はい、その通りです。
- ・P9の図面の色が印刷の関係で原稿と異なりますので、修正していただきたいと思います。

#### 事務局

- ・P9のほかに、P35も色合いに不具合が出ていますので、あわせて修正したいと思います。

#### 会長

- ・P33のエネルギーシステムの一例について、全て電気、水道、ガスのインフラが止まった時にどのようなシステムを構築するのかということで一般的な例となっています。具体的な提案はPFIで提案していただくという趣旨で良いでしょうか。

#### 委員

- ・はい、PFI事業で提案いただきたいと思っています。

#### 委員

- ・P29の行政の役割、民間の役割の について「市民」という単語の「市」が抜けています。

#### 事務局

- ・修正します。

#### 副会長

- ・P23のページだけ、行間が詰まっていて読みにくい。構成を修正していただければと思います。また、用語も最後のページに用語解説がついたのであれば、集約してはどうでしょうか。
- ・パッシブ機能重視への誘導について、「通風に配慮した」という文言を「通風や自然換気に配慮した」と記載してはどうでしょうか。また、ヒートアイランド対策についても現実的なところを記

載されているということでしょうか。

会 長

- ・行間、また語句の修正について事務局で対応をお願いいたします。

委 員

- ・今回、既存の建築物の低炭素化促進の箇所について「設備更新時に」という文言が入りましたが、P 33の行政の役割の箇所に記載されている災害時の防災機能の一定の強化について、「設備更新時」にも防災時の強化について検討するという文言を入れてはどうでしょうか。
- ・設備更新時に低炭素化促進とともに、災害時に対応したエネルギーシステムを導入するように促してはどうかと思います。

委 員

- ・エネルギー面における災害時の防止機能の強化についての考え方の背景として「貯留槽の活用」が第一条件にあり、平常時にも使えるものは使えるようにすることで、各関係者が日常から連携していこうということでこのような記載となっています。
- ・その点について、委員でも共有が図れているかどうか確認したいと思います。

委 員

- ・下水熱、地下貯留槽の活用が前提となっているということではありますがいかがでしょうか。

委 員

- ・判断は事務局におまかせしたいと思います。

副会長

- ・項目の立て方に問題があるのではないのでしょうか。建物についてもエネルギーの話も関係しますが、項目が別立てとなっています。また、防災について建築の項目では出てきません。また、今議論していることは行政だけではなく、新築、民間施設についても同様のことが言えると思います。

委 員

- ・P 23については、時間的要素（設備更新時）という文言が入っていますが、P 33は時間的要素が入っていません。官民連携で行うということのみが記載されていて、「いつ」ということは記載されていません。そこが前後でのミスマッチを起こしている原因かと思います。
- ・例えば、「継続的に」官民が連携するというような記載とするのも一案かと思います。

副会長

- ・P 23に「更新時」に検討とありますが、更新を待たなくても良い場合もあります。「更新時」という言葉をとってしまっただけではどうでしょうか。「公共施設についても低炭素化に取り組みます」としてはどうでしょうか。

委員

- ・既存公共施設について、管理者との調整がついていないため明確に「低炭素化を推進」とは記載するのは難しいです。

会長

- ・計画づくりでも良いのではないのでしょうか。「低炭素化に向けて取り組みます」としてはどうでしょうか。

委員

- ・地球温暖化対策新実行計画で区域施策や自治体自身の事務事業について規定されていれば書き込めるところもあると思いますが、川西市は地球温暖化対策実行計画をお持ちではないので、そのような問題が発生するのではないのでしょうか。更新時として定めないというのも一つのご意見だと思います。

副会長

- ・大きなことでなくても、蛍光灯を取り換える、クールビスに取り組むというのも低炭素化の一つです。小さなことでもやっていくという姿勢は大事ではないかと思います。

会長

- ・事務局と文言は調整させていただきますが、「低炭素化に向けて検討します。取り組みます」という言葉で検討していきたいと思います。
- ・P33については、エネルギーシステム全般の話で、官民連携でやっていくということで修正はせずにそのままの記載としたいと思います。
- ・他にご意見がなければ、2, 3の文章の変更等はございましたが、修正後については会長におまかせいただければと思います。

委員

- ・P28の緑視率についてご意見をお聞かせいただきたい。緑の面積と言ってもどのように算出するのかという点が課題です。市として定義を具体的に決めて記載した方が分かりやすいかと思いますがいかがでしょうか。

会長

- ・運用基準に算出方法等については定めてはどうでしょうか。環境アセスメントなどでは円で測る場合もあります。今回は、開口部の立面投影面積ということである。何m離れて計測するのかということも記載していく必要がある。

副会長

- ・緑視率は出来た際の値をいうのでしょうか。植樹した際は小さくどんどん茂っていきます。時期の目安はあるのでしょうか。

#### 事務局

- ・事例としては、宝塚市、三田市の例があります。1.5～2mの木を植えるなら、立面換算面積何m<sup>2</sup>として、原単位×本数で計算をしているのが実情です。低木は一定であるので、実面積を立面図上に落として換算している事例もあります。今後そのような運用基準を設ける必要があると思います。

#### 会 長

- ・技術的な内容は計画書には書かなくてよいということが良いでしょうか。修正はありますが、協議会の最終版ということでお認めいただければと思います。
- ・それでは、来年度以降の動きについて事務局説明をお願いいたします。

#### 来年度以降の動きについて

#### 事務局

- ・説明（資料4）

#### 会 長

- ・ただ今のご紹介についてご質問はありますか。運用基準の作り方、項目についてはエネルギー、緑視率、交通などの各項目について行い、枠組みづくりはこの協議会で検討していくというご紹介でした。

#### 委 員

- ・エネルギーの実態調査ということで、3月から実施される予定ということですが、どのように実施する予定なのでしょうか。

#### 事務局

- ・現在、分電盤に取り付け可能な見える化機器を設置し、電力については計測する予定です。その他のエネルギーについては安価な計測器等がないため、記録を付けてもらう方向で調整をしています。
- ・他に良い方法等があれば、エネルギー事業者の方と連携し実施していきたいと思っています。

#### 委 員

- ・目的次第（日変動を知りたいのか、何を調べたいのか）でご協力させていただきたいと思います。

#### 会 長

- ・将来の比較対象のデータを押さえておくということも目的の一つであると思います。

#### 副会長

- ・対象はどのような建物が対象となるのでしょうか。

#### 委員

- ・この地区には住宅が少ないため、ご協力いただける地権者さんで住宅、小規模の事務所をピックアップしてお願いにいかがかと思っています。

#### 副会長

- ・中央北地区の特殊性のあるものなののでしょうか、それとも一般的な建物なののでしょうか。ここで図る意義、近い将来どうなる予定なのかということも考慮して、調査を行う必要があると思います。

#### 委員

- ・この地区で一般的に利用されているものを、把握したいと思っています。数があればということもありますが、想定は5～10軒です。また、移転の方と存置の方がいらっしゃいます。存置する方も含めて調査をさせていただければと思っています。

#### 副会長

- ・おそらく、何のために測定するのかというのがピンとこないのもう少しわかりやすく計画をして、目的を明確にして、市民の方にもご協力いただくので有益に活用できるように十分にご検討いただければと思います。

#### 会長

- ・有益なものとなるように検討いただきたいと思います。当協議会も来年度、3回程度やるということなので、よろしくお付き合いいただければと思います。ここで議事を終了させていただきたいと思っています。

### 5. 閉会

#### 事務局（川西市）

- ・本日で、今年度の会議は終了となります。来年度も引き続き同じメンバーでお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。開催日時については、後日ご連絡させていただきます。これにて、終了とさせていただきます。ありがとうございました。